

【教育目標】

知性高く、人間味豊かに、心身ともに健康な人を育成する

【目指す学校】《スクールミッション》

知性高く、人間味豊かに、心身ともに健康な人を育成し、知・徳・体を兼ね備えた人間性を高めます。継続的で地道な努力・忍耐力・突破力を重視する「心」の教育を実践し、進路希望を実現するために一人一人の生きる力を向上させます。

【生徒／学校の現状】

素直で素朴な生徒が多く、特別活動（学校行事、委員会活動、部活動など）に熱心に取り組む。進学志向が高まっており、卒業までに大きく学力を伸ばす生徒も多いが、一方で主体的に取り組むことに課題も見られる。

学校は自ら学びに向かう力を高めるための教科学習を推進し、生徒主体による特別活動の活性化および多様な生徒に丁寧に対応する進路指導体制の充実を図るよう努めている。

【予想される社会の変化】

情報技術の高度化（IoTやAIの活用）が行われ、人口の減少や高齢化、価値観の多様化が進む中で、SDGsの実現およびSociety5.0に向けて様々な課題に対応する人材育成が望まれている。

【目指すべき生徒の将来像】

将来の日本や国際社会において主体的に貢献し、地域社会の中核として活躍するための資質をもつ人間  
高度な情報を管理する能力や、自他を尊重し多様な人々とコミュニケーションが取れる人間

【育成すべき資質・能力】《グラデュエーションポリシー》

「知性」を高める ～知を磨く～  
「人間味」豊かにより善く生きる ～心を育てる～  
「心身」とともに向上しようとする ～体を鍛える～

知識及び技能	基礎学力	基礎基本となる知識や概念を理解し定着させ、必要な技能（読み書き計算、情報リテラシー等）を正しく習得し活用できる。
	情報読解力	文章やグラフ、図表などから課題解決に必要な情報を取り出し、正確に読み解ける。
	体力向上力 健康保持力	生涯にわたって様々な運動を行う技能および健康を保持するための知識を正しく習得し活用できる。
思考力、判断力、 表現力等	情報活用力	課題や目的に応じて情報を収集した上で、内容に応じた取捨選択やその表現方法について適切に判断し活用できる。
	論理的思考力	帰納的・演繹的・類推的な思考を組み合わせ、物事を体系的に整理し矛盾や飛躍のない筋道を立てられる。
	発信力	自らの思考等について文章化や図表化を適切に行い、わかりやすく相手に伝えられる。
学びに向かう力、 人間性等	自己管理能力	自らの課題を把握し目標を設定した上で、計画を立てて行動し自己評価に基づき改善を図ることができる。
	主体的行動力	身のまわりの現象等から課題を発見し、自らの意思や判断によって課題解決へ向けて行動できる。
	調整力・協働力	課題解決へ向けて様々な人の意見に耳を傾け、相手の立場を尊重した上で適切に相互協力することができる。

《カリキュラムポリシー》

- ・よく学び、よく考え、善く行動する人を育成するために生徒主体の教育を行う。
- ・心を育て、人間性を向上させるとともに、何事にも全力で取り組む生徒を育成する。
- ・生徒の高い進路希望を実現するために、学習指導および進路指導を行う。
- ・国際社会に対応し、多様な人々と意思疎通が図れる生徒を育成する。
- ・学習活動と特別活動（学校行事や部活動等）とのバランスをとり、全ての教育活動を通じて豊かな人間性を育む。



【具体的な方策／特色ある教育活動】

- ・授業時数を確保し、計画的な授業を行い基礎学力の向上を図る。
- ・読書活動を推進し、ビブリオバトル等の言語活動を充実させ、素養及び理解力の向上を図る。
- ・TGGの活用等、英語教育を推進し、国際化に対応した確かな語学力を身に付ける
- ・体育の授業や特別活動（学校行事や部活動等）を通して、基本的な体力向上を図る。
- ・教育活動全体を通して道徳教育を充実させ、道徳的な行動力、態度の育成を促進する。
- ・近隣の小中学校および地域の行事等への積極的な協力を行い、地域との連携力を強化する。
- ・キャリア教育の推進により、生徒に生き方・在り方について考えさせる。
- ・計画的できめ細やかな進路指導を実践することで、一段高いレベルの進路希望の実現を図る。

《アドミッションポリシー》

保谷高校は、教育目標「知性高く、人間味豊かに、心身ともに健康な人を育成する」に基づき、生徒主体の教育活動を実践することで、知・徳・体を兼ね備えた人間の育成に努めてきました。その結果、生徒の夢を実現させる高校として着実に歩んでおり、地域からの信頼は年々高まっています。そこで、次のような生徒の入学を期待します。

- 1 大学進学をはじめ、自らの進路についてよく考え、主体的に学習に取り組む生徒
- 2 本校志望の意志が強く、学習と部活動や生徒会活動、委員会活動及び学校行事が両立でき、かつ、それらに積極的に取り組むことができる生徒
- 3 本校の教育目標と教育内容、伝統と校風をよく理解し、ルール・マナーをしっかりと守る心構えのある生徒

【育成すべき資質・能力に関するルーブリック】

		A (レベル3)	B (レベル2)	C (レベル1)
知識及び技能	基礎学力	基礎基本となる知識や概念を深く理解し、習得したリテラシーを駆使して幅広い分野に活用できる。	基本的な知識および概念を理解した上で、必要な技能を習得している。	義務教育学校段階までの知識や概念および技能を習得し活用できる。
	情報読解力	文章やグラフ、図表などから必要な情報を多角的かつ過不足なく取り出し、正確に読み解き理解できる。	課題解決に必要な情報を様々な文章やグラフ、図表などから多角的に幅広く取り出せる。	課題解決に必要な最小限な情報を文章やグラフ、図表などから取り出すことができる。
	体力向上力 健康保持力	健康を維持するための知識を日常生活で活用し、スポーツ等を通して主体的かつ生涯にわたり計画的な体づくりを行える。	健康に関する知識を理解した上で、スポーツ等に主体的に取り組み、運動技能の向上および体力向上を図ることができる。	多様なスポーツを経験し、運動する楽しさや喜びを体感できる。健康に関する基本的な知識や概念を理解できる。
思考力,判断力, 表現力等	情報活用力	課題や目的に応じて幅広く収集した情報を取捨選択し、その内容を適切な表現方法を用いて活用できる。	課題や目的に応じて様々な情報を収集し、その内容について表現方法を工夫し活用できる。	課題や目的に応じて情報を収集し、その内容を加工することなく活用している。
	論理的思考力	課題解決に向けて帰納的・演繹的・類推的な思考を組み合わせ、物事を体系的に整理し矛盾や飛躍のない筋道を立てられる。	物事全体を整理した上で一般的な事実を組み合わせることで課題解決に必要な結論を導くことができる。	個々の事象から物事全体を整理することができる。
	発信力	自らの思考等について文章化や図表化を適切に行い、聞き手の立場に立って工夫した上でわかりやすく伝えられる。	集めた情報や考えたことについて文章化や図表化を行い、多角的に伝えられる。	集めた情報や考えたことを単一の表現方法を用いて伝えられる。
学びに向かう力, 人間性等	自己管理能力	日常的に自らの課題を把握し目標を設定した上で、主体的に計画を立てて行動し、その結果を自己評価に基づき改善できる。	自らの課題を把握した上で、課題解決に向けた計画を立てて行動し、その結果について振り返ることができる。	支援を受けながら、自らの課題に気づき、改善するための計画を立てられる。
	主体的行動力	課題解決をして行動をする中で、新たな課題を自ら発見し、自らの意思や判断によって積極的に課題解決へ向けて行動できる。	与えられた課題に対して、自らの意思や判断に基づいて、自分から積極的に課題解決に向けて行動できる。	与えられた課題に対して、適切な助言や支援を受けながら、課題解決に向けて行動できる。
	調整力・協働力	課題解決へ向けて様々な人の意見に耳を傾けて合意形成を図り、相手の立場を尊重した上で適切に相互協力することができる。	課題解決へ向けて、様々な人の意見に耳を傾け、合意形成を図ろうとする。	課題解決へ向けて、複数人で作業分担をした上で行動できる。

【各教科における観点別評価と評定】

